大仙市立太田中学校　学校だより　　平成２９年２月２日

太中 Colours!! ～156の輝きでつくる感動色～

ご意見・ご感想はこちらまで　ot-otatyu@edu.city.daisen.akita.jp　　Ｎｏ．１５９

３年生の姿から・・・

今日，３年生は第９回実力テストを行いました。この実力テストの結果によっては，志望校の変更を考えなければいけない人もいると思います。３年生のこの時期というと，「入試のプレッシャーでピリピリしている」というイメージがあると思います。確かに，家庭ではそうした姿が見られる人もいるかもしれません。しかし，学校では意外と落ち着いて，しっとりと生活しています。授業もすごく集中しています。学校というのは不思議なものです。卒業が近付けば近付くほど，生徒は素直に，そして落ち着いて過ごすようになります。ゴールが見えてきた安心感が，そうさせるのでしょう。

３年生にとっては，今がもっとも大切な時期です。受検にむけて，直向きに頑張る３年生の姿から１・２年生も学ぶことがたくさんあると思います。

２月を乗り切る

『１・２年生の１月～３月は２・３年生の０学期』と私は思います。Ⅲ期制のときには３学期といっていましたが，後期後半のこの時期は，重い意味をもっています。

中学校の教員をやっていると，**《今が勝負どころ》**という時期があります。

前期ならば６月です。新しい環境にも慣れ，４月から積み重ねてきた努力が結果となって表れ始めるからです。プラスに進めば，目を見張る成長が見られます。逆に，学校生活に意識が向かなければ，生活が乱れ始める時期でもあります。生徒指導上の問題，例えば不登校やいじめなどの事件が最も多く発生する時期でもあります。

あとは夏休み明け直後です。夏休みの生活が乱れていれば，すぐに学校生活に順応することができません。ダラダラとした毎日を過ごしていれば，学校のように規則正しく時間通りに過ごすことが息苦しく感じるようになります。学校に足が向かなくなる生徒が増えてくる時期です。

後期は，今がそうです。部活動も大きな大会もなく，単調な生活が続きます。３年生が高校受検に向かっているので，先生方の目も３年生に向かいがちです。それだけに１・２年生への意識が下がってしまうこともあります。

２月は，いろいろな問題が必ず発生します。全国にあるすべての学級で似たような問題が起きます。大切なのは，問題が起きた後の対応です。対策を話し合い，きちんとした対応を図れば，失敗からたくさんのことを学ぶことができます。逆に，その状態を放置していれば，望ましくない方向に進んでいきます。今が勝負どころなのです。

マイナス１０をマイナス１０のままで終わらせるか・・・
それともマイナス１０をゼロに戻し，
そこからプラス１０，プラス２０に高めていくのか・・・
それはあなたの行動が決めることです。

１・２年生の様子をみると，後期後半に入ったにもかかわらず，忘れ物の多さや朝自習に集中できない姿が未だに見られます。とても残念に思います。特に忘れ物は，生活の各所に影響を及ぼします。学習意欲，学級活動への取組，家庭での生活態度など・・・**《一事が万事》**という言葉のとおり，忘れ物だけの指導ではなく，その「根っこ」にある心の部分を取り上げて指導する必要があります。

学級は集団で生活します。だからこそ，目標を共有することが重要になってきます。そこから**《学級のよさ》**が生まれてきます。個人が尊重される時代ですが，学校は集団の中で生活します。

１・２年生の皆さんは，自分の学級の姿をもう一度考えてみましょう。